

— 静かな夜と空を返せ —

発行日：2021年7月5日

発行者：大沢豊／福本道夫

No.49

横田・基地被害をなくす会 NEWS

原告団 NEWS No.40

合同
発行

連絡先：〒196-0003 東京都昭島市松原町4-10-24-100 青山事務所気付

E-mail：なくす会⇒yokota_nakusukai@yahoo.co.jp 原告団⇒yokota9th@yahoo.co.jp

Web サイト <http://yokota-nakusukai.sakura.ne.jp/>

発行：横田・基地被害をなくす会／第9次横田基地公害訴訟原告団

※ NEWSは「横田・基地被害をなくす会」と「第9次横田基地公害訴訟原告団」の合同発行です。

本年12月・原告団解団

書面審査で行われた定期総会・議案書の提案事項は、原告団、横田・基地被害をなくす会とも、それぞれ、賛成多数で成立しました。

原告団は本年1月27日に最高裁決定が出たことから、その役割は終わりました。議案書提案の通り、原告団は、この間の活動のまとめを行った後に解団します。解団の目途は本年12月としましたが、活動まとめの進行状況や次期訴訟の準備、会場確保、コロナ感染状況によって、若干ずれる可能性もあります。(たとえずれることがあっても、今年度中には解団式を行うこととしています。)

多くの皆さんのご協力や励ましによって、約9年間の活動を終えることとなりますが、原告団の財産(金銭的なもの、諸資料、多くの方との絆など)は、横田・基地被害をなくす会が引き継ぐこととなります。また、議案書で提案しました通り、私たちの主目的である「夜間～早朝の飛行差止」を始め、基地被害の抜本的な解消の実現ができなかったことで、裁判を通して私たちの声を国に届ける行為をあきらめるわけにはいきません。

2012年に始まった大規模パラシュート降下訓練、自衛隊の移駐、2018年の横田基地へのCV-22 オスプレイ配備などをきっかけとして、

騒音等の被害やパラシュート降下事故などによる危険な状態は悪化の一途をたどっています。ところが、裁判所はこのような状況を理解しようとしませんでした。

私たちは、横田・基地被害をなくす会の活動と共に、裁判という場を借りて声を上げ続けまします。現在、次期訴訟に特化した議論を役員会議で行っています。

また、活動まとめは、裁判の記録、横田基地の被害を知ってもらうためのパンフレット等を企画中で、解団式の企画は担当者を決めるところです。更に、会計処理も進行中です。

あと1つ、事務所の仮移転について報告しなければなりません。現在の事務所(プレハブ)は一旦解体し、建て直す予定です。そのため、(予定が半月早くなり、急な話にまりました。)本年7月1日をもって事務所の電話・FAXが使えなくなっています。

引っ越しは7月10日に行います。暫くの間は、別紙の通りの仮住所・連絡先電話としますので、ご了承ください。なお、メールアドレスは変更ありませんので、今まで通りご利用ください。

皆様方にはご迷惑をおかけしますが、よろしくご了解ください。

(原告団 団長：福本道夫)

原告の個人情報利用と基地周辺 住民監視の土地規制法の問題点

第9次横田基地公害訴訟弁護団 平川亮太

1 横田基地被害の対策はおざなりのまま、現政府はまたしても法律の改悪を進めています。近時、問題となっている二つの法案を紹介します。

2 ひとつは、デジタル改革関連法案です。「デジタル庁設置法」(内閣総理大臣が長となる「デジタル庁」を設置して、マイナンバーの利用に関することや情報提供ネットワークシステムの設置及び管理権限を持たせるもの)、「預貯金者の意思に基づく個人番号の利用による預貯金口座の管理等に関する法律」(マイナンバーの利用による預貯金口座の管理をするための法律です。)などを含む、メディアでも注目される施策の一つです。

しかし、その裏には様々な問題が潜んでいます。これらの法案について、国は、「給付金の事務の迅速化」など、国民にとって聞こえのよい目的ばかりを強調していますが、要は国民のプライバシーを国が集め、そのデータは強大な権限を与えられたデジタル庁が管理する、というシステムです。最も問題なのは、集められた「多様かつ大量の情報を適正かつ効果的に活用」(デジタル社会形成基本法案第2条)することが目標であるとされている点です。データがどのような形で「利活用」されるのか不透明であり、国民のプライバシーを侵害するおそれがあります。

すでに、「行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律」の平成28年改正によって、国がもつ個人情報を民間事業者が利活用できるようにする取り組みが開始されていましたが、国は、この制度に基づいて、横田基地訴訟の原告団に関する情報も外部に提供しようとしていたことが明らかとなりました。今回のデジタル改革関連法案も、同じように濫用されるおそれが拭えません。

3 他にも、「重要施設周辺及び国境離島等における土地等の利用状況の調査及び利用の規制等に関する法律案」(土地規制法案)が衆議院で可決されました。これは、米軍基地などの重要施設の、敷地の周囲おおむね1000メートルや国境離島等の区域内に「注視区域」や「特別注視区域」を指定し、その区域内にある土地建物の利用に関し、国が調査や規

制をすることができる、という内容です。

しかし、実際に法案を読むと、「重要施設」の定義はきわめて曖昧です。これでは、任意の施設を「重要施設」と指定することで、調査・規制の対象を国が自由に決めることができます。また、調査できる情報の範囲も政令に委ねられており、このままでは、国が、対象となる土地の利用者の多くの個人情報を取得することが可能となってしまいます。しかも、調査対象者が調査に協力しない場合に罰金を科すこともできる内容となっています。こういった内容から分かりますとおり、この土地規制法案は、国が米軍施設や原発などの周囲を「注視区域」に指定して、その土地の利用者に向けて自由に調査・規制を行うことができますという内容です。

当然ながら、基地被害をなくすために活動している住民も、この法案により狙い撃ち的に活動の監視や規制がされてしまうおそれもあります。

4 これらの法律は、国民の人権保障の観点に欠け、大きな問題をはらんでいます。我々は、主権者として、投票により、また、このような法案の問題点を互いに共有し世論を高めることにより、国会に我々の声を届けて、このような悪法を廃止させなければなりません。

原告団の個人情報を個人が特定できないように加工するとはいえ、民間会社に売り渡すという政府の目論見は、とりあえず止めさせることができましたが、土地規制法案は、実際にはほとんど例がない「外国人対象」を口実に、強引に成立させてしまいました。これを「軍事基地の被害や危険を訴える」私たちに適用させないようにするのは、私たちや多くの基地周辺住民が声を上げていくしかありません。

この問題について、弁護団にお願いをして、問題点について執筆いただきました。

これらの法律に重大な問題点があることを、訴えていきましょう。

(原告団・事務局)

横浜ノースドックにオスプレイ陸揚げ

以下は、2021年6月29日のRimpeace ホームページの記事から引用したものです。CV-22 オスプレイが1機横浜に駐機しています。2018年のように飛行場でもない場所から横田基地に飛来するかもしれません。周辺自治体を通して、防衛省に問い合わせをしましたが、防衛省は「知らない」との返事しかしません。

横田基地の追加オスプレイ5機は2024年までに配備されることになっています。その先ぶれかもしれません。このニュースが届くころには、横田基地に向かって動いているかもしれません。



陸揚げ直後から整備作業が進むオスプレイ。



固定翼を折りたたんだ状態で陸揚げされた。

(2021.6.29 星野撮影)

その後、固定翼は展開された。オスプレイの後ろに見えるのは、自動車運搬船グリーン・レイク。

(6.29 読者撮影)



6月29日、横浜ノースドックに入港した自動車運搬船グリーン・レイクから、少なくとも1機のV-22 オスプレイが陸揚げされた。

米軍のオスプレイのようだ。少なくとも住民には無通告の、いきなりの陸揚げだ。このオスプレイの所属はどこか。

そもそも横浜ノースドックは飛行場でもヘリポートでもない。一体何のためのオスプレイ搬入なのか。

今回、自動車運搬船グリーン・レイクは、米国本土のサンディエゴを協定世界時の6月12日深夜(日本時間の6月13日)に出港し、ハワイのパールハーバーに協定世界時の6月19日から20日にかけて(日本時間の6月20日)に立ち寄って、横浜にやってきた。

このオスプレイは、米国本土から運ばれてきたのだろう。しかし、何のためか。そして、これからどうするつもりなのか。

(RIMPEACE編集部 星野 潔)



横浜ノースドックに停泊する自動車運搬船グリーン・レイク。

右に見えるのが、陸揚げされたオスプレイ。



右写真:6月29日の19時近く、翼を広げて横浜ノースドックに駐機するオスプレイ。(6.29 星野撮影)

横田基地での他基地所属機・訓練状況 (2021年4月～6月)

*データは主に yokotajoho のブログ(羽村平和委員会) + 協力者の目撃情報などからまとめた。

月日	時刻	機種	機種用途・所属基地など	タッチ & ゴー	ロー パス
4/5 (月)	10:02	U-4	空自輸送機(入間基地)		1
4/7 (水)	11:10	MH-60R	輸送・救難・特殊作戦ヘリ(米海軍)		1
	14:35	UH-60L	汎用ヘリ(在日米陸軍キャンプ座間)		1
4/20 (火)	9:16	U-4	輸送機(空自・入間基地)		1
4/21 (水)	10:33頃	KC-130J	空中給油機(米海兵隊・岩国)	1	1
4/24 (土)	16:12	UC-35A	軽輸送機(在日米陸軍・キャンプ座間)		1
4/25 (日)	10:14~	KC-130J	空中給油機(在日米海兵隊・岩国基地)	9	
4/26 (月)	15:17	UH-60L	汎用ヘリ(キャンプ座間・在日米陸軍)		1
	9:18	T-4	練習機(空自)		1
5/7 (金)	9:47, 10:05	UC-12F	軽輸送機(米海軍・厚木基地)	2	
	15:36	MH-60R	輸送・救難・特殊作戦用ヘリ(米海軍)		1
5/10 (月)	12:13	UC-12F	軽輸送機(米海軍・厚木基地)	1	
5/12 (水)	11:47, 12:03	P-8A	対潜哨戒機(米海軍)		2
	12:22	P-8A	対潜哨戒機(米海軍)	1	
5/14 (金)	15:29	UC-35A	軽輸送機(在日米陸軍・キャンプ座間)		1
5/15 (土)	12:53~13:49	P-8A	対潜哨戒機(米海軍)	4	2
5/19 (水)	16:06	KC-130J	空中給油機(在日米海兵隊・岩国基地)		1
5/20 (木)	17:44	MH-60R	輸送・救難・特殊作戦ヘリ(米海軍)		1
	17:47	MH-60R	輸送・救難・特殊作戦ヘリ(米海軍)		1
5/23 (日)	14:01~14:48	C-2A	艦上輸送機(米海軍)ロナルド・レーガン		
5/27 (木)	13:05, 13:35	MH-60R	輸送・救難・特殊作戦ヘリ(米海軍)		2
6/2 (水)	15:24	T-4	練習機(空自・入間基地)		1
6/3 (木)	11:37	UC-12F	軽輸送機(米海軍・厚木基地)		1
	12:57	UH-60L	汎用ヘリ(キャンプ座間・在日米陸軍)		1
6/8 (火)	10:21~11:43	P-8A	対潜哨戒機(米海軍)	6	
	11:31	CL60	飛行点検機(米連邦航空局)		1
	11:31~13:03	CL60	飛行点検機(米連邦航空局)	何度も旋回	
6/14 (月)	12:57	CL60	飛行点検機(米連邦航空局)		1
	13:18	MH-60R	輸送・救難・特殊作戦ヘリ(米海軍)		1
	17:24, 41	KC-130J	空中給油機(在日米海兵隊・岩国基地)	2	
6/15 (火)	17:48	UC-35A	軽輸送機(在日米陸軍・キャンプ座間)		1
	17:49	KC-130J	空中給油機(在日米海兵隊・岩国基地)	1	
	19:48~21:40	KC-130J	空中給油機(在日米海兵隊・岩国基地)	10	
6/18 (金)	17:51	UC-12F	軽輸送機(米海軍・厚木基地)	1	
6/24 (木)	17:51	UC-12F	軽輸送機(米海軍・厚木基地)	1	
6/29 (火)	15:19, 37, 55	KC-130J	空中給油機(在日米海兵隊・岩国基地)	3	
6/30 (水)	15:06	UC-12F	軽輸送機(米海軍・厚木基地)	1	
	16:48	UC-12W	軽輸送機(在日米海兵隊・岩国基地)	1	

5市1町、低周波騒音計の寄贈申し出を断る

6月11日、横田基地周辺市町基地対策連絡会より、私たち原告団となくす会が申し入れを行った「低周波音騒音計の寄贈」について、以下の回答があった。

…オスプレイに限らず、横田基地が周辺地域に及ぼす影響の調査等については、国の責任において実施されるべきものと認識しており、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会においても、国に対して低周波音の調査等を含め要請を行っております。

国からは、低周波音については環境省による環境基準が定められておらず、また、航空機から発生する低周波音による影響については調査研究の仮定であり、今後必要に応じて対応していくとの回答をいただいているところです。

このような状況の下、現在、周辺市町では独自に低周波音の測定を実施する考えはないことから、この度、お申し出いただいた当連絡会への騒音計の寄贈については、辞退させていただきます。

一水俣も血液製剤の時も、行政は事前に芽を摘もうとはせず、惨事が起こった。

横田基地人員降下・物資投下訓練の状況 (2021年4月～6月)

*データは主に yokotajoho のブログ (羽村平和委員会) + 協力者の目撃情報などからまとめた。

月日・曜日	時刻	訓練内容		高度	備考 (注意書きなしは C-130J による)
		人員降下	物資投下		
4/5 (月)	9:06		1	ローパス	北→南
	9:21		1	ローパス	北→南
4/7 (火)	14:15	9		約 3600m	
4/8 (木)	9:50		2	ローパス	3機中2機が砂袋を1個ずつ投下
4/9 (金)	8:13	9		約 2500m	
4/12 (月)	9:19	8		約 2000m	
4/15 (木)	12:28		3	ローパス	4機中3機が各1個投下
4/19 (月)	16:09	9		約 2300m	CV-22②機による
	16:49	6		約 2300m	CV-22②機による
	17:40	10		約 4000m	CV-22②機による
4/21 (水)	16:09	10		約 2200m	CV-22②機による
	16:15	6		約 2000m	CV-22②機による
	16:54	7		約 2000m	CV-22①機による
4/27 (火)	10:19		2	ローパス	2機編隊各1個ずつ物資投下
	10:25		2	ローパス	同上
4/28 (水)	9:44		2	ローパス	2機編隊で各1個ずつ砂袋投下
	17:38	1		約 2300m	CV-22 で降下時は機関銃台座を外している?
4/30 (金)	11:17		2	ローパス	2機編隊で各1個四角い荷物を投下
	11:32		2	ローパス	同上
5/14 (金)	12:06		4	ローパス	3機編隊で、1個、2個、1個投下
※5/20 (金)		陸自〇名			C-130J③機による習志野で陸自が訓練
6/22 (火)	17:38	10		約 2800m	通告では CV-22 だったが C-130 で実施
	19:00	10		約 2000m	薄暮
6/24 (木)	17:30	14		約 3000m	
	17:58	10		約 3000m	
6/28 (月)	9:40	9		約 2500m	
	16:18	13		約 2650m	CV-71 による～16:09 ハイパス後実施
	18:03	13		約 2500m	CV-75 による
6/29 (火)	16:18	12		約 1860m	CV-67 による
	17:08	12		約 1800m	CV-67 による

横田基地 戦闘機の 飛来状況 (2021年 4月～6月)

*データは主に yokotajoho のブログ (羽村平和委員会) + 協力者の目撃情報などからまとめた。

月日・曜日	時刻	機種	機数	所属	離着陸
4/9 (金)	14:50	F/A18-E	2機	米海軍	着陸・北向き
4/11 (日)	15:41	F/A18-E	2機	米海軍	離陸・南向き
4/17 (土)	14:55	F-16CM	4機	米空軍・三沢基地	着陸・南向き
	17:05	F-16CM	4機	米空軍・三沢基地	離陸・南向き
4/26 (月)	9:17	F/A-18E	2機	米海軍	着陸・北向き
4/27 (火)	14:17	F/A-18E	2機	米海軍	離陸・南向き
5/6 (木)	15:38	F/A18-C	2機	米海兵隊	着陸・北向き
	17:54	F/A18-C	2機	米海兵隊	離陸・南向き
	?	F/A18-C	2機	米海兵隊	着陸・南向き
5/7 (金)	9:29	F/A18-C	2機	米海兵隊	離陸・北八
	15:20	F/A18-C	2機	米海兵隊	着陸・北八
	16:52	F/A18-C	2機	米海兵隊	離陸・南八
5/21 (金)	16:23 ～18:08	A-10C	10機	在韓米空軍	着陸・南八
5/22 (土)	10:31, 36	A-10C	2機	在韓米空軍	着陸・北八
5/23 (日)	14:43, 45	A-10C	2機	在韓米空軍	着陸・南八
5/24 (月)	14:38	A-10C	1機	在韓米空軍	地上走行
5/26 (水)	6:30	A-10C	5機	在韓米空軍	離陸・北八
	6:49	A-10C	3機	在韓米空軍	離陸・北八
	9:39	A-10C	2機	在韓米空軍	着陸・南八
5/27 (木)	8:16	A-10C	1機	在韓米空軍	着陸・南八
5/31 (月)	7:35	A-10C	6機	在韓米空軍	離陸・南八
	9:34	A-10C	2機	在韓米空軍	着陸・南八
6/3 (木)	7:20	A-10C	5機	在韓米空軍	離陸・北八

横田基地 CV-22 オスプレイの訓練状況 (2021年4月～6月)

*データは主に yokotajoho のブログ (羽村平和委員会) + 協力者の目撃情報などからまとめた。

*横田基地周辺で行われている訓練。「夜間」は19時以降の飛行で、「**」は22時以降。

*確認できた飛行のみ記録。*は実施の意味。P 降下=パラシュート降下訓練 (欄内数字は降下人数)

日付 (曜日)	訪問地	稼働 機数	訓練内容								目撃情報	
			離着陸	夜間	旋回	ローパス	ホバリング	ホスト	射撃	P 降下		
4/1 (木)		1		*								
4/2 (金)		2						*	*			
4/5 (月)		2						*	*	*		裾野市
4/6 (火)		2		*				*		*		
4/7 (水)		2		*				*		*?		
4/8 (木)		2		*	*			*	*	*		
4/13 (火)		2		**								
4/14 (水)		1		*						*?		
4/15 (木)		2		**	*							
4/19 (月)		2?		*				*			25名	9+6+10名
4/20 (火)	岩国?	2		*								大津
4/21 (水)		2									23名	10+6+7名御殿場
4/22 (木)		2		*	*							
4/26 (月)		2		*						*		
4/27 (火)		1		**	*	*	*	*				
4/28 (水)		1			*			*			1名	
4/29 (木)		1	*	*	*			*	*			
4/30 (金)		1		*								
5/2 (日)		1			*							
5/3 (月)		1		*	*							
5/4 (火)		2	*	**	*				*			
5/5 (水)		1	*	*	*			*				基地東でもS訓練
5/6 (木)		2	*	*	*			*	*			
5/10 (月)		2		**				*				
5/11 (火)	岩国?	1										小山町, 焼津
5/13 (木)	~岩国	2										
5/14 (金)	岩国~	2			*							
5/15 (土)		1			*							
5/17 (月)		2	*	*	*			*				基地東側も旋回
5/18 (火)		2?		*					*			
5/20 (木)		3	*	*	*	*	*	*	*			相模原 相模湾
5/24 (月)		3			*				*?			
5/25 (火)		1			*	*						
5/26 (水)		3		*								他基地?
6/6 (日)		3										他基地から帰還
6/9 (水)		2		*								三沢?
6/10 (木)		1	*	*	*			*				
6/14 (月)	山形空港	2	*	*	*							①機山形空港に着陸=故障
6/15 (火)	山形空港	1		*	*							整備士派遣
6/16 (水)	山形, 富士	1										山形空港, 富士演習場
6/17 (木)		2	*	*	*			*				相模湾
6/18 (金)	山形	2?	*	*	*			*	*			ロープ降下, 相模湾
6/20 (日)	山形	1										山形空港から帰還
6/22 (火)		1		**								北方に向かう
6/23 (水)		2			*							
6/25 (金)		2	*	*	*			*				町田市, 埼玉県
6/28 (月)		2		*	*						26名	13+13名
6/29 (火)		1		*	*			*	*		24名	12+12名, 相模湾
6/30 (木)		2		*	*							

経過報告と今後の予定 (2021年4月～)

☆☆☆☆☆☆☆☆経過報告☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

- * 4/1 横田基地第2ゲート前 Standing
- * 4/1 なくす会+原告団役員会議
- * 4/3 日弁連空域問題シンポジウム (パネラー参加)
- * 4/6 オスプレイ東日本連絡会・作業委員会オンライン会議
- * 4/9 全国基地連最高裁前 Standing
- * 4/12 基地周辺自治体回り (裁判終了報告等)
- * 4/14 基地周辺自治体回り (裁判終了報告等)
- * 4/15 第2回次訴訟検討会
- * 4/27 全国基地連・オンライン事務局長会議
- * 5/1 横田基地第2ゲート前 Standing
- * 5/5 基地案内 (交流センター関係) 15名
- * 5/6 全国基地連・オンライン事務局長会議
- * 5/10 総会メッセージ依頼・メールと郵送
- * 5/13 なくす会+原告団役員会議 (総会に向けて)
- * 5/17 原告団・なくす会決算・予算検討・確認
- * 5/19 オスプレイ連絡会
- * 5/20 「総会は書面審査で実施」する旨のはがき送付
- * 5/20 環境省交渉のオンラインの予備テスト
- * 5/20 オスプレイ…東日本連絡会・オンライン作業委員会
- * 5/22 原告団&なくす会・会計監査
- * 5/27 総会議案書印刷～帳合～発送準備
- * 5/29 神奈川県央共闘総会で横田基地について記念講演
- * 6/1 横田基地第2ゲート前 Standing
- * 6/2 東日本連絡会・政府交渉
- * 6/3 なくす会+原告団役員会議
- * 6/11 横田基地周辺市町協議会から騒音計寄贈断りの回答
- * 6/19 オスプレイ署名・宣伝行動 (立川駅北口テラス)
- * 6/23 定期総会議決権行使書確認作業
- * 6/23 三多摩平和運動センターへ要請行動
- * 6/24 三多摩東地区へカンパ等要請オルグ
- * 6/25 青山事務所+借入倉庫下見
- * 6/28 コピー機, 事務所→青山事務所引越し
- * 6/29 三多摩西地区へカンパ等要請オルグ
- * 6/30 全国基地連オンライン会議
- * 7/1 横田基地第2ゲート前 Standing
- * 7/1 なくす会+原告団役員会議
- * 7/5 NEWS印刷～発送作業

☆☆☆☆☆☆☆☆今後の予定☆☆☆☆☆☆☆☆

- * 7/6 全国基地連政府交渉 (外務省・防衛省)
- * 7/7 全国基地連政府交渉 (環境省・国交省)
- * 7/8 ジャーナリスト吉田敏浩氏基地案内
- * 7/9 オスプレイ連絡会・幹事会
- * 7/10 事務所引越し
- * 7/15 オスプレイ東日本連絡会オンライン会議
- * 8/1 横田基地第2ゲート前 Standing
- ◇◇◇◇基地の状況など (確認できたもののみ) ◇◇◇◇
- ▶ CV-22 オスプレイ…6 ページ参照
- ▶ 戦闘機…5 ページ参照
- ▶ パラシュート訓練…5 ページ参照
- ▶ 他基地所属機の訓練…4 ページ参照
- 【その他の目立った動き】
- * 5/16 空中警戒管制機 E-3C (嘉手納) 飛来
- * RQ-4B グローバルホークが 5/21, 5/22, 5/26, 5/28 に1機ずつ飛来。6/1 から運用。
- * 5/23 C-2A (米海軍艦載機=空母ロナルド・レーガン) 飛来
- * 6/8 KC-135R 着陸後即エンジン停止～火災なしも故障?
- * 6/14 CV-75 山形空港に緊急着陸。僚機 CV-67 も着陸。翌日整備兵を送り込み 6/20 帰投。
- 【訓練の情報提供 (北関東防衛局から)】
- * 4/7 ~ 14 C-130 & CV-22 で人員降下訓練の実施 (約 10 名)
- * 4/19 ~ 23 CV-22 で人員降下訓練の実施 (約 40 名)
- * 4/26 ~ 30, 5/3 ~ 7 サムライ即応監査訓練の実施
- * 4/28 ~ 29 CV-22 で人員降下訓練 (約 20 名)
- * 5/5 ~ 15 (硫黄島が悪天候の場合) 空母艦載機による FCLP (陸上での空母離着陸訓練) 予定→実施せず
- * 5月下旬から約5か月間 米空軍 RQ-4B グローバルホーク 6機を横田で展開, 三沢では米海軍トライトン
- * 5/18 ~ 20 横田 C-130 が習志野で陸自空挺団の降下訓練
- * 日米友好祭, 今年の開催中止～来年5月に開催を延期
- * 5/26 グローバルホーク運用部隊, 横田基地に到着
- * 6/8 グローバルホークは予定機数が全機飛来済。
- * 6/14 CV-22 で約 130 名の人員降下訓練 6/14 ~ 25
- * 6/15 山形空港にオスプレイ整備要員派遣 6/15, 6/16
- * 6/28 C-130 で約 70 ~ 80 名の人員降下訓練

「うるさい!」と思ったら…

各自治体には、苦情としてお伝えください。件数が記録されます。

抗議先一覧

横田基地：042-552-2511
 航空自衛隊横田基地：042-553-6611
 防衛省北関東防衛局：048-600-1800
 防衛省横田防衛事務所：042-551-0319
 外務省：03-3580-3311
 東京都庁：03-5321-1111
 瑞穂町役場：042-557-0501
 羽村市役所：042-555-1111
 福生市役所：042-551-1511

昭島市役所：042-544-5111
 立川市役所：042-523-2111
 武蔵村山市役所：042-565-1111
 日野市役所：042-585-1111
 八王子市役所：042-626-3111
 あきる野市役所：042-558-1111
 青梅市役所：0428-22-1111
 入間市役所：04-2964-1111
 飯能市役所：042-973-2111

諸行動のお知らせ

【オスプレイ関連行動】

◇毎月 1 日午前 11 時～の基地前 Standing
8 月 1 日, 9 月 1 日, 10 月 1 日, 11 月 1 日…

◇全国基地連政府交渉

7 月 6 日・7 日 (参加者締切)

◇オスプレイ連絡会の署名提出と政府交渉 (未定)

NEWS 内容 (目次 = CONTENTS)

本年 1 2 月, 原告団解団……………	1	人員降下と物資投下訓練状況, 戦闘機飛来状況……………	5
原告の個人情報利用と土地規制法の問題点……………	2	CV-22 オスプレイの訓練状況……………	6
横浜ノースドックにオスプレイ陸揚げ……………	3	経過報告と今後の予定, うるさいと思ったら……………	7
横田基地での他基地所属機訓練状況……………	4	諸行動のお知らせ……………	8
5 市 1 町, 低周波音騒音計の寄贈を断る……………	4	目次, 天欄……………	8

天欄

感染者が増加しているのに、オリンピックを開くのだそうです。観客数を減らす、聖火リレーは中止などしながらも、突然スポンサーへの配慮でアルコール飲料の販売をすることになり、それがまた中止になり…、を見ていると、五輪の開催がバツハ会長のひと声や金で決められる催しで、美しくも、民主的でもない現実を知ることができます。こんな催しはやめるのがいいのです。五輪なんかやめて、スポーツマンシップもなにもかも、出発点から出直すのがいいと思います。5 月 1 日の横田基地ゲート前スタンディングのとき、差し入れの大量の飲み物の袋を抱えた米兵がゲートから出てきて、基地前交番の床に置き、帰っていきました。日本警察の交番は、日米安保最前線の米軍基地の守衛所というところでしょう。国も地元の自治体も、飲み屋や食堂、パチンコ店を規制するのに熱心ですが、米軍に蔓延する感染症とその波及について、口を閉ざしています。コロナ事態で見えてくるものがあります。

さて今回は「基地周辺の土地規制」の問題について触れたいと思います。基地周辺 1 km 程度の自衛隊・米軍の基地周辺、国境離島の土地利用を規制する目的の法案で、基地周辺に暮らす人にとって大きな影響のある法です。「慎重審議が必要だ」と考えていたら、一気に 6 月 16 日未明に強行採決されました。前日の 6 月 15 日、さすがに心配になって大決心、国会前に出かけました。沖縄の人、自衛隊基地が建設されつつある先島の人、そして労働者・市民 300 人ほどがいたでしょうか？ 60 年安保闘争の中で殺された樺美智子さんの慰霊祭が南通用門であり、そこから集会に参加した人もいました。

一例を沖縄について考えてみましょう。嘉手納や普天間基地以外にも広がる沖縄の広大な軍事基地。

沖縄戦を前に日本軍の基地は一気に広がり、それは敗戦とともに更に広がって米軍に占領されました。沖縄戦の中で戦火に追われ逃げまどった島民に帰る術はありませんでした。日本軍・米軍に占領され奪われた土地—反戦地主の闘いはこれを起源としています。1970 年代、復帰直後の沖縄に何度か旅をしたことがあります。嘉手納基地の片隅、かつての自分の畑にカーネーションを植え、その花で生計を立てている S さんの畑を訪ねました。反戦地主会の闘いがはじまったばかりの頃でした。

いま、軍事基地のまわり 1km の専用権を主張する資格が国にあるのでしょうか？ そんなことを横田基地周辺 1 km 住民として、承認できますか？ 次の号の「天欄」では、沖縄以外の全国の基地を例に引き付けて、横田や立川も素材にして考えたいと思います。(K)

6 月 29 日、オスプレイ 1 機が横浜ノースドックに陸揚げされました。この件に関して、横浜で監視行動を行っている方から連絡がありました。私が写真等で確認し、この機体が CV-22 であると確信し、自治体を通して、この機体が横田基地に飛来する可能性があるかどうか防衛省に問い合わせてもらいました。結果は「知らない」という返事でした。

この間、外務省や防衛省に要請や質問の場で、外務省や防衛省の担当者の「米軍は基地周辺住民の安全や安心を考えて飛んでいる (はずだ。)」と云いつつ、具体的には、日本政府は米軍機の運用については、何も知らない (ふりか?) という内容の回答が目につく。また、こちらの質問に対し、的外れな回答をすることも気になる。先日は思わず、本当に試験を受けて国家公務員に受かったのか、と言ってしまった。政治家たちの答弁に感染している。(M)